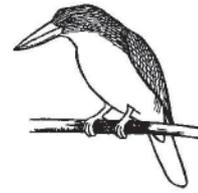


(財) 山階鳥類研究所
〒270-1145 千葉県我孫子市高野山 115
電話：04-7182-1101 Fax：04-7182-1106
<http://www.yamashina.or.jp>



カラーフラッグ付きのタゲリ 一般の方の撮影でモンゴルとの渡り判明

モンゴルで野外識別用のカラーフラッグを装着されたタゲリが、石川県で観察撮影されました。タゲリで海外の生息地との間の移動が確認されたのは初めてです。

この個体は、2011年3月27日に石川県加賀市干拓町(柴山潟干拓地)の耕地で同種の群中にいるところを、加賀市在住の寺谷泰彦さんにより観察撮影され、右脚のカラーフラッグが、青一緑の組み合わせであることのほか、左脚に装着された金属製の足環の番号が「M0002」であることもデジタル画像から読み取られました。連絡を受けた山階鳥類研究所で問い合わせた結果、ニューヨークに本部のある自然保護団体「野生生物保護協会」(Wildlife Conservation Society) が2008年7月31日にモンゴル中部のオギイ湖畔(47° 46' N, 102° 49' E)で標識を装着したものであることがわかりました。

今回撮影されたタゲリがモンゴルで標識を付けられた時期から、この付近で繁殖したことが推測され、日本に渡来するタゲリの繁殖地に関する情報が初めて得られました。尾崎清明・保全研究室長は「標識された鳥の観察や撮影結果が、貴重な記録になります。ぜひ報告してください」と話しています。



撮影されたタゲリ(2011年3月27日 石川県加賀市干拓町)。左下は金属足環の拡大。下3桁の「002」が見える(2コマとも撮影：寺谷泰彦氏)

※画像のデジタルデータをご希望の方は右記までご連絡ください。

タゲリ

チドリ目チドリ科に属する水辺の鳥で、全長約30cm。上面は光沢ある暗緑色で、下面は白色。後頭部の長い冠羽が特徴。日本にはおもに冬鳥としてユーラシア大陸から渡来しますが、日本に渡来するタゲリがユーラシアのどこで繁殖しているかの情報はこれまでありませんでした。

カラーフラッグ

カラーフラッグは、鳥の足に装着する足環の一種で、鳥に負担にならない範囲で、人間が野外で観察したときに目立つように「旗」状に設計されています。足環で野鳥の移動経路などを調べる「鳥類標識調査」の一環として、研究機関などの国際的な協力体制によって、調査場所別に装着位置や色、形を決めて実施されています。観察するだけでその鳥がどこで足環をつけられたのかが分かる仕組みです。



今回判明したタゲリの移動

本件についてのお問い合わせ先

(財) 山階鳥類研究所 広報主任：平岡考

電話：04-7182-1101 FAX:04-7182-1106